

ハビエル・エチャバ リーア司教は属人区 長座教会の地下聖堂 に葬られました

エチャバリーア司教は、福者
アルバロ・デル・ポルティ
リョとドラ・デル・オヨと一緒に、属人区長座・平和の聖母教会の地下聖堂に眠っています。埋葬と葬儀ミサをまとめたビデオも（2分50秒）。

2016/12/14

ハビエル・エチェバリア司教が納められた棺は午後3時45分に閉じられました。属人区長は紫色の祭服を身にまとい、司教の指輪をはめ、胸には十字架を付けていました。2日間にわたり、数千人の信者たちが遺体の前で祈りを捧げました。その間、遺体は、属人区長座教会の聖堂内で、オプス・デイ創始者・聖ホセマリアが眠る棺の前に安置されました。

棺が閉じられた時にその作業を見守っていたのは、属人区長の統治を支えた男子と女子の中央委員会に属する人々でした。棺の上部には銀色の十字架像と、属人区長の氏名と年代「1932 - 2016」を刻んだ碑板がはめられていました。

午後5時、埋葬に先立つ葬儀ミサが捧げられました。属人区長が不在であるため、聖堂内の属人区長座は空席のままでした。ミサの説教で、

フェルナンド・オカリス師は、「エチエバリーア司教は、信仰によって真に神の子であると、深く感じていました。この自覚によって、身体的なものも含めた、様々な困難や苦しみを克服できたのです。愛徳を自ら実行し、兄弟愛をいつも生きるようにと急き立てるように励ましてくださいました。『互いに愛し合いなさい』といつも繰り返していました。そして、私たちも望んでいる天国の約束に希望を置いていました。信仰、希望、愛を生きる者にとって、たとえ大きな悲しみに見舞われたとしても、それは軽くなるでしょう。キリストが担ってくださるからです」と述べました。また、「聖ホセマリアと福者アルバロに奉仕した彼の生涯、さらに、オプス・デイを導いた22年間の奉仕の生涯について感謝しなければなりません。仕えられるためではなく仕えるために来られた主の模範に従ったのでした」と語りました。

続いて、8名の司祭が棺を地下聖堂へ運びました。エチェバリーア司教の墓は、福者アルバロ・デル・ポルティーリョの墓と祭壇の間に位置しています。オカリス師が死者のための祈りを捧げた後、棺は墓に埋葬され、その上を石板で閉じました。

埋葬後、属人区長座教会は通常の活動に戻りました。当教会は、午前8:30から午後2時まで、および午後5時から午後8時30分まで開かれています。12月15日、午後7時に、聖エウジェニオ大聖堂（ローマ）において、ハビエル・エチェバリーア司教の永遠の安息を祈るミサが捧げられました。
